

上肢観血的整復固定術を受けられる患者様へ

担当医師

担当看護師

経過	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目～退院日			
月日	(/)	(/)	(/)	(/)			
検査・処置	医師の指示によって採血などの検査を行います。 場合によっては、血糖値を測定する場合があります。		病棟へ戻ってから、体温や血圧などを測り、症状を観察します。必要に応じて、採血の検査があります。 手術後数時間は酸素マスクを装着します。 痰は飲み込まずにティッシュへ出しましょう。 足の血流を良くするマッサージの機械を装着します。	医師の診察があります。			
内服薬・点滴	現在、内服しているお薬やサプリメントがあれば看護師に教えてください。 内服薬については、薬剤師、または看護師から説明させていただきます。	朝、看護師が内服する薬をお持ちします。 場合によっては内服しないこともありますので、看護師の指示に従ってください。	手術中から点滴を行います。 痛み止め（坐薬もしくは点滴）が使用できます。痛みがある時は我慢せずに看護師を呼んでください。 食事を再開した時点で、痛み止めの内服が始まる予定です。	状態が安定していることが確認できましたら、点滴の針を抜きます。 痛み止めの内服薬を飲み始めます。 抗生剤の内服が始まります。（経過により内服しない場合があります。） ※退院時に抗生剤を処方された際には、必ず飲み切ってください。			
安静度	基本的に院内歩行は自由です。 医師の指示がある際は、看護師から説明しますので、指示に従って頂きますようお願いいたします。病棟を離れるときは看護師に声をかけてください。	看護師と一緒に手術室へ（歩行・車椅子・ベッド）で向かいます。	基本的に手術直後は、ベッド上での安静となります。 医師の指示により、看護師の見守りのもと、歩行が車椅子でトイレへ行くことができます。看護師へ声をかけてください。	歩行状況の安全が確認できましたら、手術前と同様に歩くことができます。 医師の指示がある際は、指示に従っていただきますようお願いいたします。 手術した腕の安静保持のために三角巾を使用することがあります。三角巾は術前から使用していたものか、術後に病棟からお渡しするものを使用します。患部の腫れや痛みの増強を防ぐためにも、腕を上げておきましょう。			
食事	治療食でない限り、制限はありません。 手術に伴いコンビニ等で水・お茶・スポーツドリンクのうち、お口に合うものを用意してください。	0時から絶食です。 飲水は()時までです。飲水量は自由ですが、飲んだ量を看護師にお伝えください。	医師からの指示があるまで、経口摂取はできません。 手術2～3時間後から看護師見守りのもと飲水開始となります。飲水開始後問題なければ、食事開始となります。	食事が再開になります。			
看護・指導	看護師が入院するまでの経過や自宅での生活についてお話を伺います。また、術前後についても説明を行います。 病棟のご案内をいたします。 手首にネームバンドを装着させていただきます。 同意書の確認を行います。 麻酔科医師・手術室看護師より説明があります。 シャワー浴・洗髪・爪切りを済ませて下さい。	時計・眼鏡・アクセサリー・ヘアピン・義歯・コンタクトレンズ・かつらは手術前に外します。弾性ストッキングを着用してから、手術室に向かいます。貴重品は鍵付きのボックスで紛失の無いように保管してください。手術中は看護師が鍵を預らせていただきます。手術が終了したら、鍵をお返しします。	【御家族の方へ】 面会制限中のため、手術日も御家族の方の面会は制限させていただきます。 ※未成年の患者様の場合 面会制限中のため、基本的には手術日の面会も制限させていただきますが、御家族の方に御来院して頂く場合もあります。その際は、呼び出しベルをお渡ししますので、ベルを持って2階の家族ロビーでお待ちください。食事やトイレなど席を外す際には、病棟へ声をかけていただきますようお願いいたします。手術が終わりましたら、声をかけさせていただきます。	【退院指導】 ・痛みが増した ・傷から血が出る ・腫れが増した ・傷の赤みが増した ・熱が出る 上記のような症状がある際には病院へ電話し、外来を受診してください。 創部は、防水の保護テープが貼ってあるためシャワー浴をしても構いません。ごしごし擦るのは避けて下さい。 入浴は、保護テープが剥がれる原因となりますので、次回の診察まで入らないようお願いいたします。			

上記のスケジュールにそった入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。

注) 1 入院期間については、現時点で予想されるものです。